



討論に立つ石田議員

来年4月スタート

子ども 子育て 新制度

このまちとともに

専門職員配置や施設面積など 現行基準を後退させるな

関係条例制定で共産党が要求（石田議員が代表質疑）

9月議会で、国の「子ども子育て支援新制度」に幼稚園、保育所、認定こども園（保育所と幼稚園機能を兼ねる）、小規模保育事業や家庭的保育事業（保育ママ）などの設置基準を定める市条例が制定されました。従来の認可外（無認可）施設も基準に合致すれば認可施設となります。私達は認可保育所の増設で待機児をなくすとともに、保育所以外の施設でも国や市の責任で保育の質を引上げること

市の認可条例や運営の基準条例でも、すべての子どもに等しく保育を受ける権利を保障する事が大切であり、「現行基準を後退させない。設置基準の格差をなくし、現行施設への助成を継続する。これまで市が国の最低基準より加配してきた保育士や看護師、栄養士の配置を条例で定め継続すること」を求めました。

◆保育料は応能負担ですが、別途、上乗せ徴収や実費徴収ができる条例案に対し、保護者の負担増になると主張し、低所得や多子世帯対象に減免制度を求めました。◆現在、国の規制緩和をうけ4階以上に設置している保育室の避難設備の条例改正に対し、乳幼児の保育施設にとって高層階からの避難はリスクが高く、子どもの命と安全を最優先にすべきことなどからこれら条例案に賛成しませんでした。

一刻も早く 待機児童解消へ！

今年4月、認可保育所の「入所不承諾数」は2570人でした。共産党はこの間の代表質問で①来年4月に待機児解消のためには当初の整備計画（1540人の定員増）をさらに増やすべき ②来年4月から5年間の「子ども子育て支援事業計画」に、潜在的な保育ニーズをしっかりと盛り込んだ整備計画を策定すべきと質問しました。

◆市は配置基準条例を国の最低基準どおりとし、加配や助成は現行員会において、石田議員の「第3次募集で来年4月の定員増を何人にする計画か？」の質問に「2000人をめざしている」と初めて答弁がありました。

「しっかりと保育ニーズに対応できる提供体制の確保を定める」と答弁

「第3次募集をかけ2千人の定員増をめざす」と答弁

◆子ども本部長は、「当初計画の1540人の定員増はめどが立った。申請者の更なる伸びが予測される地域へ、小規模保育や民間事業活用型の第3次募集を行なっている」と答弁。10月7日の市民委

◆子ども本部長は、「当初計画の1540人の定員増はめどが立った。申請者の更なる伸びが予測される地域へ、小規模保育や民間事業活用型の第3次募集を行なっている」と答弁。10月7日の市民委

高齢者実態調査（昨年度実施） でうかがう 特養ホーム増設の必要性

2015年度から3年間の【第6期高齢者福祉計画・介護保険計画】が今年度中に策定されます。策定に先立ち、市は昨年度「高齢者実態調査」を行ないました。特養ホームの増設の必要性が強まっています。今年4月の待機者は4927人です。

●今すぐに入所したい38・8%を含め、1年先位には入所したい人は56・4%にもなります。

高津区内の現在判っている整備と定員（当初120人から230人へ増）

| 保育所名 | 定員増 | 受入年齢 | 所在地 |
|-------------|---------------|------|-------------|
| 諏訪保育園（民営化） | 30 (60→90) | 5ヶ月～ | 諏訪3-20-15 |
| まなびの森保育園高津 | 60 | 1歳～ | 久地1-453-5ほか |
| わらべうた溝の口南口 | 60 | 1歳～ | 久本1-532-2ほか |
| にじいろ保育園二子新地 | 30 | 1歳～ | 二子1-42-1 |
| ぶどうの実梶が谷園 | 50 | 5ヶ月～ | 新作1-1733ほか |

◆子ども本部長は「調査結果を踏まえしっかりと保育ニーズに対応できるように提供体制の確保を定めていきたい。認可保育所も必要となる数を定め計画的に整備を進めるとともに、様々な手法を用いて保育受入れ枠の確保を図ってまいります」と答弁。

●法の改定で入所は原則介護度3以上とされましたが、介護度1・2の必要な方も入所可能にすべきです。現に、入所されている4247人の内、介護度1（244人）、2（487人）の方々の入所理由は、介護者不在、介護困難、認知症等による判断力の低下・喪失と

●「居宅介護支援（ケアプラン作成）事業所に聞いた「充実すべきサービス」の1位も「高齢者短期入所ベッド確保事業」介護者の緊急時に対応するショートステイ（51・9%）です。

●「在宅介護を支える為にも特養ホームの増設が必要」

●「特養入所希望者への質問「介護の負担を軽減するために必要なサービス」の1位はショートステイ（40・6%）」

この回答からもショートステイのベッドを有する特別養護老人ホームの増設が必要です。決算の総括質疑で2015年度からの第6期計画に、必要な整備数をしっかりと盛り込むことを求めました。

（ウラ面へつづく）

◎突出して少ない高津区へ整備を

担当課長は「高津区の整備が遅れているのは承知しているが大谷市営住宅跡地については建設に課題があるのでまだ検討中。民有地での整備が可能になるよう、9月に「民有地における設置運営法人募集要項」を公開し、高津区内の整備には選考時に加算する内容を盛り込んだと報告がありました。」

どうなっているの？ 【決算審査分科会】

危ない大山街道路踏切の安全対策の取組！

栄橋交差点から片町交差点までの道路を拡幅し、アンダーパスによって踏切による渋滞をなくし、歩行者の安全を図る都市計画道路溝ノ口線。道路整備課長答弁「2013年度、アンダーパス化の工事をJR東日本への委託に伴い、同社と協定を締結し、土質調査、測量調査を実施。本市が発注した溝ノ口線の基本的な構造を決定するための道路予備設計と路線測量委託を完了した。現在、溝ノ口線の事業認可を取得するため、交通管理者との協議を実施しており、今年度中に地元説明会を開催する予定で、平成27年度の事業着手に向け取組んでいます」



大山街道の踏切を渡る高齢者

◆JR津田山駅の橋上駅舎化・住民要望の検討状況は？

以下、交通政策室長からの答弁です。「平瀬第2踏切側からも水上路を利用した通路でアクセス向上を」について、水路が狭く、隣接道路との高低差等の課題を含め、引続きJR東日本と協議していく。



平瀬第2踏切側の用水路

● 駅前空地への車の乗降スペースの設置について、現在、道路管理者と設置に向けた協議を行なっている。

● 工事中の騒音・振動対策や工事内容、スケジュール等の工事説明会は、工事施工者が決定後に市、JR東日本、工事施工者が出席し開催を予定している。

● 現在、JR東日本への委託による自由通路、橋上駅舎化の詳細設計を行なっており、今年度中に工事着手し、平成29年度末の工事完成に向け、取組を進めている。

● なお、自由通路、駅舎壁面のガラス張り計画から、近隣の住居側の一部を壁にし、道路側は2m高さまで曇りガラスに設計変更を行った事を確認しています。

● 公園・街路樹の維持管理費、道路の維持補修費の増額を【決算総括質疑】

共産党議員団は、雑草が生え放題で手入れが届いていない公園や街路樹の写真を議場のディスプレイで示し、地域の安心と景観のため市民生活に密着した公園・道路の維持管理費の増額を求めました。2013年度の公園維持管理費の決算額は09年度より面積は増えているのに減額され、1㎡あたりの管理費も世田谷区や横浜市と比較しても予算が圧倒的に少額です(表1)。

| 年度 | 全公園面積 | 公園維持管理費 | 単位面積1㎡ | 横浜市 | 世田谷区 |
|--------|-------|-----------|--------|------------------|--------|
| 2009年度 | 691ha | 16億4600万円 | 238円 | | |
| 2013年度 | 734ha | 14億8300万円 | 202円 | (2012年度) 523円 | 1,152円 |

(表1)

市民アンケートで改善要望のあった二子坂戸緑道と梶ヶ谷第2公園。



歩道まで植樹が生い茂る梶ヶ谷第2公園

綺麗になった二子坂戸緑道の鉄棒周辺



ブランコ周辺



共産党市議団のアンケートに返信 4870通 (10月6日現在)

共産党市議団は、市政に反映させるため、8月に「市民アンケート」を配布。10月6日現在、市内全域から4870通の回答が寄せられています。

政治のあり方、保育所入所が大変、リニア新幹線の環境問題、ゴミ収集など寄せられています。ご要望が生きる市政実現にがんばります。回答を引続きお待ち

高津区からも640通寄せられ、地域問題は、道路舗装、公園の管理、バス停・バス便、鉄道、バーベキュー、環境問題など。10月中旬に公園ウォッチングや現地を確認などとして道路公園センターや関係機関に改善の申し入れを行なっています。

